



ふくおか【Good👍】農業人100

主な農産物／米、麦、大豆、ハトムギ

堤 浩亮さん (35歳) (営農地／久留米市三潁町)

地域農業の担い手として

《就農のきっかけ》

海外勤務の話がきっかけ

実家は両親2人で、米麦を中心とした土地利用型の大規模経営*が営まれていました。一方、浩亮さんは学校卒業後、エンジニアとして働いていましたが、長期の海外勤務の話があり、どうしようかと迷っていました。そうした中、母親が体調を壊し、父親一人では経営が回らなくなったことから、実家に戻り就農し、土地利用型大規模経営*を展開することを決めました。

《これまでの過程》

エンジニアの経験を活かして

生まれは農家でも、学校もそれまでの仕事も、全く農業とは関係がありませんでした。それで、就農当初は農業のことが分からず、特に土地利用型の大規模農家で大型機械の操作が大変だったことから、補助作業を主体に行っていました。

今は、大型特殊の免許を取得し機械作業全てを行えるようになったことから、18haの農地で米・麦・大豆・ハトムギを生産するほか、近隣の水田の防除や収穫作業などを受託し、地域農業の担い手として活躍しています。

エンジニアの経験を活かして、防除請負の計算ソフトを自作するなど、コンピュータを積極的に活用しています。またJA青年部に所属し、小学校での米づくりの指導や餅つきなどの地域活動も行っています。



プロフィール

■家族構成／本人、妻 ■前職／エンジニア ■営農年数／約5年
■従業員数／3名 ■耕作(経営)面積／18ha
■販路／JA共販、直売

《これからの展望》

今は父を手本に将来は新たな展開を

「機械のことは詳しいが、肥料や農薬の使い方などの技術面は父にはかなわない。父がやっていることを手本に、おいしい米等を作りたい。」と話す浩亮さん。更に、「今は父が経営の主体だが、自分が主体に経営を行うようになったらインターネット販売も取り組みたい。また、今は両親と自分の3人で農作業を行っているが、人を雇い販売に力を入れていきたい。」と、これからの夢を語ってくれました。

*大規模経営・・・経営面積の大きい経営や農業所得、販売金額が高い効率的かつ安定的な農業経営を目指して経営改善に取り組む農業経営。



Good👍 成功のためのポイント

まずは、体力面が重要。更なる効率化と消費者の信用をつかむこと。そして、インターネットの利用や販路の拡大。